に く る　始業点検表

年　　月　　現場名：　　No.

管理No.　　担当者：

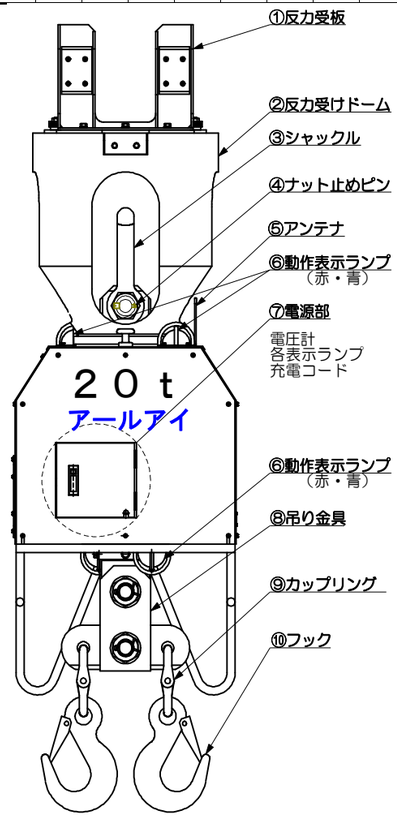
			チェック内容	点検方法 ／ 日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1	本体		外観の変形・損傷（本体カバー・扉・ボタンロック・）	目視・手触																															
2		①	反力受板の変形・損傷	目視・手触																															
3		②	反力受けドームの変形・損傷	目視・手触																															
4		③	シャックルの変形・損傷	目視・手触																															
5		④	ナット止めピンの変形・損傷	目視・手触																															
6		⑤	無線アンテナの変形・損傷	目視・手触																															
7		⑧	吊り金具の変形・損傷（ボルト・ナット・割ピン）	目視・手触																															
8		⑨	カップリングの変形・損傷	目視・手触																															
9		⑩	フックの変形・損傷・（本体・安全レバー）	目視・手触																															
11	電源部	⑥	各動作表示ランプの作動・損傷（上部下部の赤青各2ヶ所）	目視																															
12		⑦	電源スイッチの作動・損傷	目視・手触																															
13		⑦	電圧計の作動・損傷（満了時26V）	目視																															
14		⑦	充電コードの変形・損傷（コード・コネクター）	目視・手触																															
15		⑦	各表示ランプ（主電源・充電開始・充電中）	目視																															
16																																			
18																																			
19	無線部●作動		フットスイッチ・送信機の損傷及び作動の確認	目視・手触																															
20			右旋回・左旋回・フットスイッチ操作にて	目視・操作																															
21			ロック・ロック解除・フットスイッチ操作にて	目視・操作																															
22				目視・手触																															
23				目視・手触																															

点検内容			
	異常なし：V　　修理 ： △	点検者	
	調整 ： A　　交換 ： ×　　注油 ： L	確認者	

！注意・危険

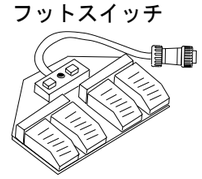
- ●管理者・使用者はご使用前必ず取扱説明書を熟読の上正しくお使い下さい。
- ●定格荷重を越える荷は、絶対に吊らないで下さい。
- ●始業点検を必ず行って下さい。
- ●天秤本体に強い衝撃を与えないで下さい。故障の原因になります。
- ●本体・フックに溶接機のアースを接続しないで下さい。
- ●本体・フックに溶接用電極を絶対に接触させないで下さい。
- ●本体の充電は、必ず使用前日必ず行って下さい。
- **●使用後の電源OFFを必ず確認して下さい。**

  完全放電を繰り返しますとバッテリーの寿命を著しく低下させます。
  （充電してもすぐに電圧が下がることがございます。）

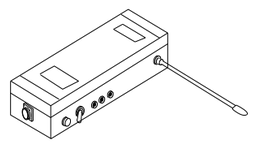


備　考

フットスイッチ



送信機



アールアイ株式会社

ＴＥＬ：０４８－２８０－５５０５

ＦＡＸ：０４８－２８０－５５１０

http://www.tokyori.co.jp